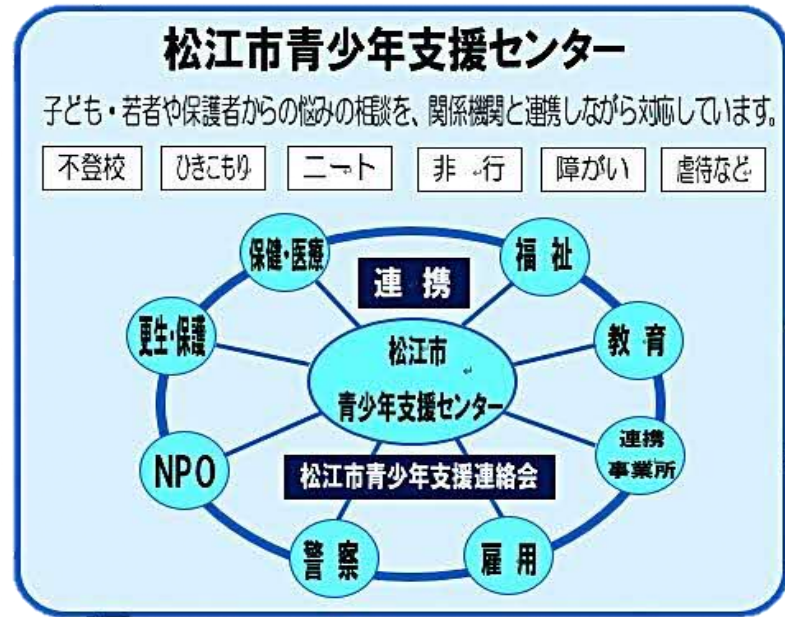


令和6年度松江市青少年支援連絡会・研修会について

松江市青少年支援連絡会は相談支援機関・団体のネットワーク構築および支援にあたる人材の育成を図るため、平成22年に設立しました。

令和6年度は代表者からなる「松江市青少年支援連絡会」並びに研修として「青少年支援セミナー」「事例検討会」を開催しました。



■7月22日開催「令和6年度松江市青少年支援連絡会」

令和6年度事業計画の説明
及び構成機関・団体の計画、
活動についての報告、
意見交換を行いました。



松江市青少年支援連絡会の様子

■10月21日開催「第1回松江市青少年支援セミナー」

テーマ：困難を抱えるこども・若者への総合的な支援

講師：久留米大学文学部 教授 門田 光司 氏

困難を抱えるこども若者の背景や課題、アプローチの方法や居場所づくりの事例、関係機関との協働・役割分担や支援方法を学ぶ事ができました。

参加者の方からは、

- 各発達段階での特徴や支援事例、国の調査結果や施策を踏まえた内容がわかりやすかった。
- 不登校支援員として参考にしたい内容であり、自身の学びの中で取り入れたいと思う。

といった感想をいただきました。



第1回松江市青少年支援セミナーの様子

■1月20日開催「事例検討会」

スーパーバイザー：小村臨床心理士事務所

所長 小村 俊美 氏

青少年支援センターでの対応事例（2件）について説明（支援の状況・相談の主訴等）後、スーパーバイザーを交えて関係機関・団体と支援について意見交換し、課題や解決方法について共有することで「顔の見える関係づくり」として実施。

事例① 不登校で義務教育終了後のつながりが上手くいかなかった方

事例② 義務教育終了後の進路に不安要素のある方

■2月10日開催「第2回松江市青少年支援セミナー」

演 題：不登校になる子どもの心理

～それに対する理解・支援方法

非認知能力向上による支援～

講 師：徳島文理大学人間生活学部

教授 松本 有貴 氏

不登校の背景や要因、心理面や脳の発達などの理解を深めた後に、グループワークの時間を設けて、参加者同士で意見を出し合うことにより、学びと親睦の場とすることができました。

参加者の方からは、

- 非認知能力の向上について難しいイメージがあったが、とても分かりやすく聴くことができた。
- グループワークで講演内容の理解が深まり、参加者同士で意見交換ができて、とても有意義だった。

といった感想をいただきました。



第2回松江青少年支援セミナーの様子

松江市青少年支援センターだより

はぐくみ

令和7年7月発行 第35号



松江市青少年支援センターでは

不登校、ひきこもり、障がい、問題行動など様々な困難を抱える39歳までのこども・若者本人や家族などから相談を受け、相談者の悩みをしっかりと受け止め、心の安定を図ることを大切にしたい各種支援に取り組んでいます。また、必要に応じてより適した支援機関等にもおつなぎします。



松江市青少年支援センタースタッフ紹介

所長以下5人の指導員が相談・支援にあたります。また、青少年支援センターを所管する青少年支援室が体験事業、音楽＆ものづくりスタジオ事業に携わります。

どうぞ宜しくお願いします。



ベランダ菜園もあります



ボードゲーム、手芸用品、キーボード、ダーツなどがあります

松江市青少年支援センター

〒690-0061 松江市白湯本町43 スティックビル6F
TEL0852-25-2583 FAX0852-20-2852

メール m.s.shien@city.matsue.lg.jp

開所時間 月曜日～金曜日 午前9時から午後5時まで
休 日 土・日、祝日、年末年始

来所の予約もできます。電話にてお受けします。



相談用電話

0800-200-2700 (通話料無料)



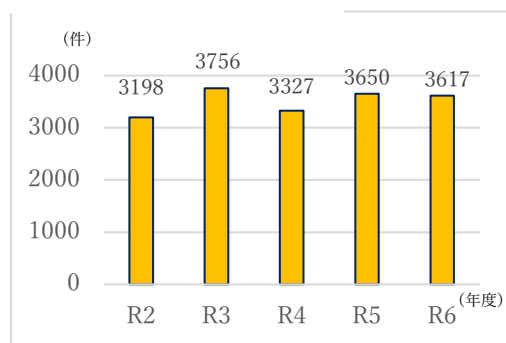
令和6年度 松江市青少年支援センターの支援状況

(R5:3人)

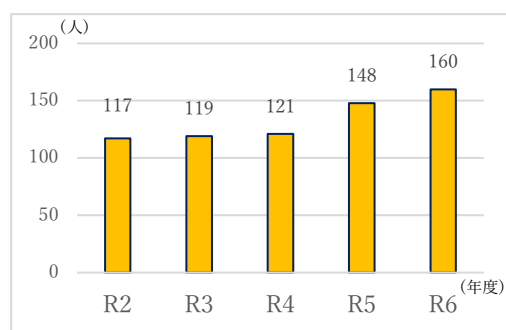
総合相談の受理(来所・電話・メール)

相談・支援件数 3,617 件
相談実数 160 人

【 相談・支援件数の推移 】



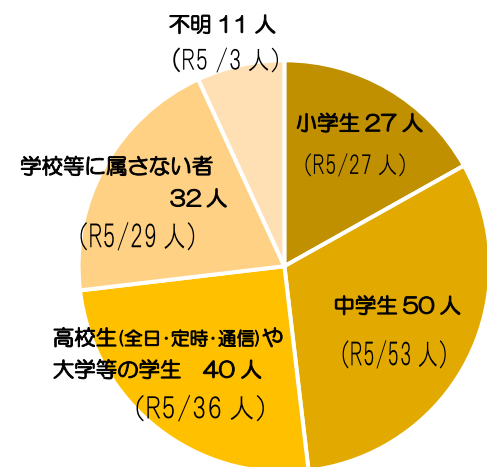
【 相談実人数の推移 】



【 相談内容 】

相談内容	実人数
学校問題 (不登校 80、学業進路 14、その他 6)	108
家庭問題	9
対人・社会問題	10
個人問題	28
問題行動	0
その他	5
合 計	160

【 相談実人数の内訳 】



これまでの経過や現状をお聴きし、
今後のことを一緒に考えます

※ 160人中、新規86人・前年度からの継続は74人でした

安心して過ごせる、社会とつながるきっかけとなる場を提供します(継続通所)

生活支援(居場所の提供)

学習支援

11 人に対し支援

教科学習
一般学習
学びなおし
レポート支援等

小学生 0人
中学生 4人
高校・通信 7人

就労支援

10 人に対し支援

求人情報の提供
履歴書作成指導
面接指導
就労体験
ハローワーク同行

中学生 2人
高校・通信 2人
無職者 6人

86 人が居場所として利用

面談・雑談
ボードゲーム
ものづくり
軽スポーツ
各種体験活動等

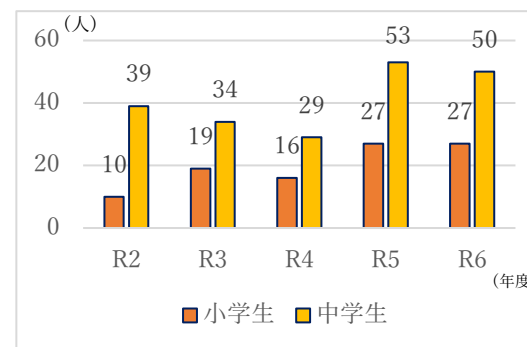
小学生 12人
中学生 29人
高校大学等学生 24人
その他(少年・成人) 21人

中学3年生(継続通所者)の進路・・・高校進学(全日制、定時制、通信制)、就労
就労実績・・・一般正規就労、アルバイト就労

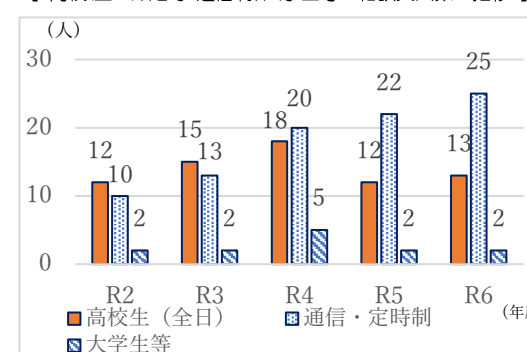
円滑な社会生活及び自立



【 小・中学生の相談実人数の推移 】



【 高校(全日)、定時・通信制、大学生等の相談実人数の推移 】



令和6年度の相談対象者数は 160 名で、前年度の 148 名から 12 名の増加となりました。

相談対象者は、区分の不明な 11 名を除き、小中学生の相談が前年度の 80 名から 77 名となり、義務教育修了後の相談が前年度の 65 名から 72 名となる等、義務教育修了後の相談者が増加傾向となっています。

対応にあたっては、悩みや不安を受け止め、心の安定を図ることを最優先にしています。1 対 1 での対応を基本として、ゆっくり話をするほか、ボードゲームや卓球、音楽&ものづくりスタジオでの講座や、所外での各種活動を通じて元気の回復を目指しています。

また希望する者に対し、教科や学びなおし等の学習支援や就労に向けた各種支援を行いました。



体験活動

所外での体験活動も企画・実施しました。

【陶芸体験】



【ごす釣り体験】



【和菓子づくり体験】



【機織り体験】



～体験者の声～

- ・作るのは難しかったけど、完成したらとってもうれしかった。
- ・きれいにできた。
- ・ごす釣り楽しかった。

就労体験

就労をめざす若者に各事業所の協力をいただき、就労体験の機会を提供しました。

野菜づくり体験

6F ベランダで、プランターを使った野菜作りをしました。
種まき・水やり・収穫と、みんなで協力して行いました。

音楽&ものづくりスタジオ(主催講座)

STIC ビル内にある
音楽スタジオ(1F)・ものづくりスタジオ(5F)
を活用し、各種主催講座を開催しました。

【音楽スタジオ 3講座】

- ・ドラム講座
- ・ピアノ講座
- ・ボーカル講座



【ものづくりスタジオ 3講座】

- ・レーザークラフト講座
- ・クッキング講座
- ・軽スポーツ講座



～体験者の声～

- ・だんだん上手に弾けるようになってうれしい。
- ・難しかったドラムのリズムも叩けるようになってきた。(ドラム講座)
- ・先生のアドバイスでだんだん高い声が出せるようになってきた。もっと上手に歌えるようになりたいと思った。(ボーカル講座)
- ・クッキング講座は細かい作業が難しいけど、出来上がったお菓子がとてもおいしい。(クッキング講座)
- ・家にある材料で、また作ってみたい。(クッキング講座)
- ・レーザークラフト講座で、自分の好きな色の作品が作れてうれしい。(レーザークラフト講座)
- ・軽スポーツ講座で汗をかいておもしろい動きが楽しい。(軽スポーツ講座)

音楽&ものづくり
スタジオ